3J004

【R2】復習シート　中学校３年　国語（読むこと）

埼玉県学力・学習状況調査（中学校）

復習シート　第三学年　国語

組	番号	名前

【説明的文章の問題】

1　次の文章は小鳩さんが国語の授業で書いた意見文です。この文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

先日、母と話をしているときに、「やばい」という言葉について、「今の子は、いい意味でも使うのね。」と言っていた。確かに、私たち中学生は「すごい」「すばらしい」という意味で「やばい」と使う。［A］、母の世代では、「とんでもなく悪い」「どうしようもない」という意味で使うらしい。

日本語が乱れていると、よく聞く。流行している若者言葉を耳にした大人が顔をしかめて、嘆く場面を想像したりする。私も母によく「正しい日本語を使いなさい。」と、しかられることがある。しかし、本当に若者の言葉は乱れているのだろうか。その実態を把握している人はそう多くはないだろう。最近の調査を検証しながら、言葉をめぐる問題を考えていきたい。

平成三十年度「国語に関する世論調査」（文化庁）によれば、「国語に関して国に期待することは何か」というということに対して、「家庭や社会で正しい言葉遣いが行われるようにする」という項目が約四割で一位であった。いかに、世間の人々が「正しい言葉遣い」に敏感になっているかがわかる。しかし、一般的に言われているように、大人は正しい言葉遣いをしていて、若者は間違った使い方をしているのだろうか。

同調査には興味深い調査結果があった。「憮然」という言葉の意味について、本来の「失望してぼんやりしている様子」という正しい意味で使っていた六十代の人は、十八・六パーセントだったのに対して、十代後半の世代では、六十九・五パーセントが正しい意味で使用していたのだった。

このことから、必ずしも、大人の方が正しい日本語を使っているとは限らないといえないだろうか。確かに、今回の調査に掲載されている他の言葉については、大人の方が、本来の意味で使用している場合が多い。しかし、若者の方が正しい意味で使用している言葉もあるのだ。

私は、言葉を使う上で大切なことは、相手に思いを伝えるということだと思う。コミュニケーションとは自分がいて、相手がいる。自分の思いだけで言葉を使っては、一方通行になってしまう。双方向のコミュニケーションにするためには、相手のことを考え、相手に伝わる言葉で、伝えることが必要なのではないか。そのために、「正しい日本語」があると考える。

私たちは、日本語の担い手として、次の世代に引き継いでいく役割がある。私たちが、日々使っている日本語を振り返り、言葉を磨くことで、正しい日本語の意味が生まれると思う。

問一　空欄Ａに入る最も適切な語句を次の１～４の中から選びなさい。 レベル7

ア　しかし　　イ　そして　　ウ　また　　エ　だから

問二　この文章を「序論」「本論」「結論」に分けるとき、「本論」と「結論」の初めの三字を書き抜きなさい。 レベル9

「本論」

「結論」

問三　小鳩さんが活用している調査内容と読み取れることを、次のように表にまとめました。□に入る言葉を二十字以内で書きなさい。 レベル8

調査項目	調査から読み取れること
国語に関して国に期待することは何かという調査	世間の人々が「正しい言葉遣い」に敏感になっているかがわかる。
「憮然」という言葉の意味を問う調査	